

# 本田屋 そば通信

honda-ya  
soba  
communication

vol.01

2023.11 nov.

本田屋の味にも  
物語があります。  
まずは、蕎麦が育つ  
美しい出雲平野と  
作り手たちのことを  
お話ししましょう。

おいしいものには  
物語があります。  
土をつくり、耕し、  
種を蒔き、慈しみ、  
空と大地に祈る。  
暮らしをつないでいく。



今宵、  
蕎麦で一杯。

おすすめ  
「そば」プラン  
yorusoba  
plan

お蕎麦 × 日本酒

とっておきの酒の相棒に  
蕎麦はいかがですか。  
熱燗のふくよかな香り。  
あたたかい出汁に泳ぐ  
素朴な風味の蕎麦。  
おでんや煮物、しまあえ、  
いつものおかずもご馳走に。  
大人時間が豊かに熟します。



(神在月の期間)  
年に一度しか買えない  
出雲そばの最高峰をご家庭で。

GAOH 5335・GAOH 5338  
**出雲そば神在月**  
(十割そば6食つゆ付き・薬味付き)

GAOH 5335  
割子容器付き **10,000**円(税込)

GAOH 5338  
割子容器無し **6,000**円(税込)

※上記どちらの商品も、送料込みの価格となります。

《セット内容》  
○ 出雲十割そば(島根県産)6食  
○ 濃縮つゆ6食  
○ 金箔  
○ きざみ海苔  
○ かつお節  
○ もみじおろし  
○ オリジナル割子容器(3段)  
○ 常温配送

《販売期間》  
2023年11月13日(月)  
~2023年12月12日(火)

《商品発送予定日》  
2023年12月15日(金)

※画像はイメージです。 ※商品イメージは割子容器付きのGAOH 5335です。

ご注文・  
お問い合わせは  
こちらから！



出雲そば専門店  
〒699-1121 島根県雲南市加茂町神原 1106-4

フリーダイヤル  
**0120-213-170**  
対応時間 / 平日 9:00 ~ 17:30  
※土日祝日、年末年始、お盆は弊社休業となります



HP



**J** Aしまね斐川地区本部は、本田商店が蕎麦の原料を仕入れているルートの一つ。同本部では、出雲平野を中心とした生産者によるグループ「斐川町そば生産部会」と協力して出雲産の蕎麦の実を出荷しています。生産部会には19の農家が所属し、そのほとんどが家庭で蕎麦を手打ちする方。本来の出雲蕎麦は、かしこまらずに食べられる家庭料理です。今では一般家庭で

## 「うまい蕎麦を作りたい。」

蕎麦打ちをする人は減りましたが、それぞれの家で異なる「うちの味」はかけがえない宝物。そのためか、生産者の皆さんは「うまい蕎麦を作りたい」という情熱を燃やすばかりです。

## 「いい塩梅」の土で育む。」

**現** 出雲平野で主流となっているのは島根オリジナル品種「出雲の舞」。小粒ながらぷっくりとハリのある実が特徴で、香り高く味が濃いため出雲蕎麦に最適です。

栽培は夏に始まります。7月に畑を肥やしますが、本来蕎麦は荒地でも育つ作物。栄養豊かになりすぎると実入りが悪くなるため、土づくりの微妙な塩梅が要（かなめ）に。種時は8月上旬。昨今は集中豪雨が



## 「守り続ける、土地と農。」

**出** 雲平野は近世に奥出雲で盛んに行われた「たたら製鉄」の産物です。山を切りくずして砂鉄を採集する「鉄穴（かなな流し）」によって流れ出た土砂が、斐伊川によって運ばれ徐々に堆積。平野がかたちづくられていきました。水と肥沃な土に恵まれた出雲平野では農業が発展。広大な田園の中に築地松に抱かれた家々が立ち並び、この地方独特の風景が今も広がっています。

日本海と宍道湖に挟まれるように広がる出雲平野。トーンの異なる緑や黄、そして大地の色が織りなす田畑のパッチワークは、長い年月をかけて人々の暮らしが作り上げたもの。本田商店が使用している出雲産蕎麦の一部は、この地で育てられています。

近年は全国的に農業の担い手不足が進んでいます。出雲地方では地域で協力し集落営農や大規模経営へいち早く転換。圃場整備やパイプラインによるかんがい排水の導入などを展開し、時代に合わせたスタイルにシフトしています。土地に根付いた「助け合い」のお互い様”の文化や、「先祖から受け継いだ田畑を次世代へ」「形を変えてでも農業を続けたい」という人々の願いによって「ふるさとの農」が守られたと言えるでしょう。手を取り合い、知恵を出し合った結果、出雲平野には美しい田園風景が残されているのです。

宍道湖などの生態系に配慮し、肥料や農薬の用法や使用する時期は厳しく管理されています。田んぼには季節を通じてサギが舞い、冬には白鳥や雁がのんびりと落穂を拾い、稀にですが雲南市方面からコウノトリが飛来することも。そんな風景が見られるのも、自然を大切にされた農業が続けられているおかげです。

